



2007～08 年度
国際ロータリー会長

Wilf WILKINSON

Weekly Report Niigata



2007～08 年度
新潟ロータリー会長

徳山 啓聖



ロータリーは分かち合いの心

2007-08 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 3 月第3例会 (2008.3.18) No.2746

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 徳山 啓聖会長挨拶

先回の例会後、職業奉仕委員会の樋熊先生のご紹介で、市民病院を見学させていただきました。今井院長先生や市の建設担当者の丁寧なお話、病院内部そして免震構造の免震機構部分まで、事細かに見せていただきました。心から感謝を申し上げます。

ところで、今月は識字率向上月間ではありますが、世界の中で日本は教育が普及して、識字率は世界最高でありましょう。

しかし、インド旅行をした友人がインド人に道を尋ねたら、その場所は分かりにくい所なので私が案内してあげようと、目的地まで連れて行ってくれました。それも30分以上かかる距離であり、友人は感謝の意味でお金の礼をしようとしたが、そのインド人は頑強に受け取りを拒み、そしてこう言った。「俺はあんたに親切にした。この次はあんたが誰かに親切にしてやってくれ。それが俺に対するお礼になる」その言葉を聞いた時私は

涙がこぼれそうになったと言いました。そして、そのインド人に住所と名前を書いてくれと求めましたが、彼は「俺は文字を知らない」と言っていた。識字率の低いインドだから文字の読めない人が多いのです。

ところで、イギリスの歴史家 G.M. トレヴェリヤンという人は「教育は、書物を読む事ができるが、どの書物を読む価値があるかを見分ける事が出来ない人口を増加せしめた」この言葉はまさに現代日本人に対する強烈な皮肉になっている。日本人は多くの本を読んでいる、しかしその読んでいる「何か」が本当に読む価値のあるものなのだろうか・・・とすれば識字率の高低の故をもって、日本人はインド人を軽蔑してはいないでしょうか。又、軽蔑できるのでありましょうか・・・。

本日は、鳥居さんからご紹介の大正琴で名高い(株)琴源社長 金子 秀樹氏から卓話と大正琴の演奏をお聴かせ頂きます。どうぞお楽しみ下さい。

(3) 村山正英君退会挨拶

(4) 委員会報告

佐野 克也親睦委員

・4月8日 前橋 RC との観桜例会 お申込を3月20日までに、御願ひ致します。

・4月15日 イタリア軒で恒例の観桜例会を開催致します。会員8000円、ご家族6000円です。大勢の参加をお待ちしております。

(5) 卓話「たかが大正琴、されど大正琴」

(株) 琴源 代表取締役 金子 秀樹氏

3月25日のプログラム

卓話「翼を広げて 来日して感じたこと」

株式会社 BSNアイネット 王 悦 氏

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>